

# 窓

京都新聞 平成 31 年 (2019 年) 3 月 27 日 (水)

## 不器用さ 気づける教師に

伏見区・森本 康太(大学生・20)

1月7日付朝刊の「『不器用』のなせ知って」という記事に興味を持った。

「発達性協調運動障害」という、初めて聞いた障害名が取り上げられていたのが理由の一つだ。しかし、私も授業などで発達障害

については学んだため、似

たようなものだろうという予想はできた。そこで、この障害と発達障害の違いを知ることが、この障害を知る上で、最も重要になると考えた。そして、それこそが社会での理解の差であり、その理解のな

さが、現場の教師にも深刻

な問題を起こさせてしま

う。  
しかしながら、このような不器用さがある子に、気づけないものかという疑問を持った。確かに教員に診断はできないが、日常における違いには気づくことができるはずだ。その違いを見逃さないように、もっとう子ども一人ひとりに関わっていくことが必要だと思う。

※無断転載不可